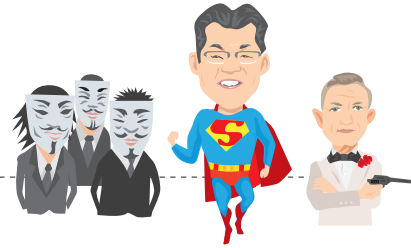


CONTENTS 7・8・9月
ALL 32PAGES

PAGE 02-03

協会NOW

「情報システム課が担う3つの業務」



PAGE 04-10

医学協会の確かな安心<シリーズVol.31>

29年目を迎える情報システム課、顧客満足度向上を目指し、鋭意推進中!!
セキュリティ対策・システム開発・運用と保守の3大業務について

PAGE 11-12

医学協会からのお知らせ

『9・15新潟県労働安全衛生大会』開催のお知らせ
『11・11カウンセリングマインドを活用したメンタルヘルスセミナー』のお知らせ

PAGE 13-16

風しん抗体検査とワクチン同時接種で抗体保有率UP!

風しんワクチン接種無料クーポン券の有効期限は2024年までです。
目指せ、抗体保有率90%

PAGE 17-20

Dr.YAMAMOTOの気ままな産業医日記

自己紹介を兼ねた私の仕事、趣味、家庭のことなど



PAGE 21-24

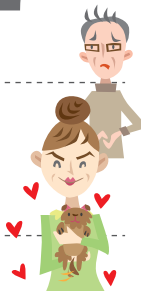
検査部通信SPECIAL

新潟県民は塩分を取り過ぎています!
ご自分の推定塩分摂取量、調べたことはありますか?

PAGE 25-28

金さんの元気のでるメンタルヘルス講座

<シリーズVol.17>加齢を華麗に生きる~人生はニャンとかなる~



PAGE 29-30

表紙の写真「夏真っ盛り、濃緑あふれるたきがしら湿原」

編集者からのメッセージ

医学協会の新たなロゴ「新潟ウェルネス」。その名称にある「ウェルネス」は、英語の「Well（健康な）」を名詞化したもの。米国の医学者ハルバート・ダンが提唱した健康概念で、「単に病気ではないだけでなく、輝くように生き生きしている状態」を意味します。皆様の健康維持・管理のため、ベストな健診体制を整え、また、健診結果にもとづいた、ベスト・コンディションのキープ（あるいは、改善のために積極的に活用）に寄り添いたい、との思いからのネーミングです。



THE 60 YEAR

働く人たちの健康を守る健診機関として1962年に発足した医学協会は本年、創立60周年を迎えます。今号のトップは、Trim誌では初登場となる部署の紹介です。当会の顧客（個人）情報セキュリティ（運用）の要であり、当会ならではの情報システムの構築や開発を手掛ける「情報システム課」の仕事とスタッフの活動をご紹介します。

情報システム課が担う3つの業務

(一社)新潟県労働衛生医学協会
理事・情報処理部部长
こまざわ ちかし
駒澤 爾

開設から29年目、
情報システム課の現況

情報処理部 情報システム課は、1993年に「管理部システム開発室」として設置されました。

当初はオフコン（オフィスコンピューター）を中心にパソコンと連携させながら、「システムの開発・構築」、および「運用・保守」業務を行っていました。その後、個人情報保護法の施行やプライバシーマーク取得などもあり、現在では「情報セキュリティの確保」を加えた、大きく3つの業務を行っています。

情報セキュリティの確保をなによりも優先する

医学協会が実施する健康診断や人間ドック、ストレスチェック等における、検査結果や病歴などの身体情報は、個人情報保護法における「要配慮個人情報」に相当し、その取扱いには特別な配慮が必要となります。

お客様からお預かりしたこれらの情報を保護することは、利便性や効率、コストなどよりも優先されます。

不正アクセスやサイバー攻撃、誤操作やシステム不具合等による、情報の漏えい・滅失・毀損やシステムの停止などを発生させないため、ネットワーク分離や多重防御システムと検知・警報システムを構築し、常時監視を行うと共に、最新の情報の収集と施策を講じるようにしています。

情報システムの開発・構築でお客様の要望に応える

当システム課では、法令や、各種学会のガイドライン改正等へのいち早い対応、お客様からの独自オーダーに柔軟にお応えする、「ウェルネスサポートシステム」など、ツールの開発・改良や、内部からの機能追加・改修要望などに応えるため、システムの開発や、各種サービスの利用検討を行います。このような場合も、情報セキュリティの安全性確保を最優先事項としています。

また、万一健康診断等の結果処理システムに不具合があると、お客様に多大なご迷惑をおかけすることになるため、検証作業は徹底して行います。

確実な運用・保守により当会業務を支え、 お客様からご安心いただく

システムが停止したり、処理速度が低下するなどし、お客様にご迷惑をお掛けすることのないよう、機器やネットワークの監視、点検を行っています。

また、ヘルプデスク業務、メーカーサポート切れOSやソフトウェアの入替え、故障時の修理手配、予防点検、各システムの操作権限やアクセス権の付与、外部媒体（USBメモリなど）の管理などを行っています。

近年、「情報システム課」の業務内容は多様化・高度化しておりますが、お客様からご安心をいただけますよう、引き続き当会の業務を支えることに努めてまいります。

情報システム課 開設29年

- 1993年（平成5年） 管理部システム開発室新設
- 1994年（平成6年） 事業所における健診業務の合理化と健診結果データの有効活用を目的に「HCSS健康管理支援システム」を公開
- 1996年（平成8年） ポケコンによる肥満度等計算器を開発、フォローアップ健診システム改修
- 1998年（平成10年） 情報処理部 情報システム課に名称変更（情報処理部と併合）
- 1999年（平成11年） 健康管理支援システムの新版「ウェルネスサポート2000」を公開、Y2K（2000年問題）対応、骨密度健診システム稼働
- 2000年（平成12年） 社内LAN敷設、メール運用開始、特殊健診システム稼働
- 2001年（平成13年） 一般健康診断の多項目結果処理用「V45結果作成システム」稼働、じん肺健診管理システム稼働、労災二次健診対応
- 2004年（平成16年） 住民結果処理システム稼働、精密検査システムのリニューアル、ポケコンに最大酸素摂取量計算機能を追加
- 2005年（平成17年） 健康管理支援システムの新版「ウェルネスサポートII」初版公開、個人情報保護法全面施行への対応
- 2008年（平成20年） 第一期特定健診対応、レセプトオンライン請求処理システム稼働
- 2011年（平成23年） 開発中の基幹システムと、オフコンシステムの連携機能を用いた並行稼働運用を開始
- 2013年（平成25年） 基幹システム（オープン系スクラッチ開発）及びハンディターミナル健診システムの運用開始、第二期特定健診に対応
- 2014年（平成26年） プライバシーマーク認証取得（情報管理責任部署を担う）、オフコン稼働終了
- 2016年（平成28年） 新住民健診システム運用開始、ストレスチェック対応、サイバーセキュリティ対策強化、ネットワーク回線強化
- 2018年（平成30年） 基幹サーバーのリプレース、第三期特定健診対応
- 2019年（令和元年） メールシステムのリプレース及びセキュリティ対策強化、改元対応
- 2020年（令和2年） 各種オンライン化（新型コロナウイルス感染症対策）、Pマーク2017版更新審査、ハンディ健診システム後継版リリース
- 2022年（令和4年） ウェルネスサポートIIのWindows11対応版公開